

平成26年度学校評議員活動概要

活動時期	活動概要(意見聴取の概要、参加評議員数、対応方針等)
H26.6.21	<p>7名の出席(評議員4名、学校3名)</p> <p><b>概要説明</b></p> <p>ア、今年度の中学新入生は50名で全体の生徒数は大きな変動なくスタートした。</p> <p>イ、年間行事で大きな変更として、しばらく中止していた高校1年生を中心としたナイトウォーク(43Km)を再開した。</p> <p>ウ、部活動ではインターハイや春高バレーに出場した高校女子バレーボール部をはじめゴルフやスケート、剣道、テニスで活躍した。</p> <p>エ、進学面では特に医薬系に希望する生徒が増え実績を出した。</p> <p>オ、今年度の努力目標を「一日一日を大切に」とし、預った生徒を6年間大切に育てたい。</p> <p>カ、到達度テストの実施に向けた体制づくりと習熟度別授業を4月から実施しているが、保護者の反応は総じて良い。</p> <p>キ、中高6年間のスパーンを組み替え「基礎期」「充実期」「発展期」とし、学年ユニットに応じた補習、ゼ口限授業や上位層を伸ばす体制に持っていった。</p> <p>ク、生徒募集では、初の試みとして年間を通した新聞紙面広告を利用し、生徒確保を図りたい。特に英語教育に力を入れていることを積極的にPRしたい。</p> <p>ケ、中学の入試制度を大きく変更した。中学入試を1ヶ月早め、従来の推薦入試を取りやめ、かわるものとして適性検査を実施する。あわせて、小学校からの報告書は廃止した。</p> <p>コ、学年行事で大きな変更として、中学3年の研修旅行を沖縄からハワイに変更した。また現地交流校も決まり、テーマを決めて交流内容など詰め、成果の上がる研修旅行となるよう準備中である。</p> <p>サ、校務運営組織の変更や、同窓会へのテコ入れなどを行っている。</p> <p><b>学校評議員より意見</b></p> <p>ア、現役生の大学合格率はどうか？6年間積み上がり浪人生が成果を出しているのは理解するが、もっと現役が合格できるように力をつけさせないと中高一貫の意義が薄れるのではないか。</p> <p>イ、生徒募集の観点から見て、今後小中一貫が制度化された場合の影響はどのように考えるか。</p> <p>ウ、市町村が実施する小中連携について、本当にメリットがあるのか疑問を感じる。</p> <p>エ、担任や教師の指導力不足を感じさせる話も聞くが実態はどうか。具体的には講演会等での生徒の聞く態度等など。</p> <p>オ、家庭での躾は大事ではあるが、学校の役割は大きい。人格形成の上でも学校での躾は大切である。</p> <p>カ、部活動で成果の出していない部もあるが、大事なことは部活の楽しさを教えることであり、その点で部活顧問の役割は大きい。</p> <p>キ、学校は部活動と勉学のバランスを言うが、どのような部活動にしたいのか見えてこない。</p> <p>ク、スクールバスに関して、雨天時の乗車率はどうか。安全面を考えた時に詰め込み状態は問題があると思う。</p>

H27.3.14

9名の出席(評議員5名、学校4名)

**概要説明**

- ア、大学進学については関東圏が減少傾向にある。現役は苦戦しているが、依然医歯薬系が強い。就職や専門学校に進む生徒も出てきたが、国公立後期の結果に期待できる。
- イ、入試制度の改革を実施し、推薦入試を取りやめた。これにより、募集にどのように影響するか心配したが、大きな影響も無く、逆に質の維持は出来た。
- ウ、中学3年生のハワイへの研修旅行だが、特に現地校との交流は大変有意義であった。今後、英語教育にはますます力を入れ、グローバルな人材育成を図る。
- エ、今年度から中学まで広げた習熟度授業を行ったが、実際にやってみると問題点も見えてきた。問題点は改善しながら来年度以降も実施する。
- オ、ICT教育に関して先進校を参考に、本校も検討中である。メリットやデメリットもいろいろあるが、これからの時代ICT機器を使いこなすことが大事となってくる。

**学校評議員より意見**

- ア、難易度を下げても生徒数を確保するのと、難易度を高め生徒数を減らしても質の維持を図るとでは学校はどちらを優先させるかはっきりした点は評価できる。
- イ、さまざまな機会をとらえ、情報を発信することが大事である。学校をこの様に変えていくのだという事をどんどん発信すべきである。
- エ、ハワイの研修旅行は心配の声も有ったと聞かすが、単なる観光ではなく予想以上の成果を上げたことは評価できる。
- オ、外国人旅行者の増加を見聞きするにつけ、英語教育の大切さを痛感している。北斗は従来から英語教育に力を入れていたと聞かすが、今後ますます推し進めてほしい。